

The Fukuoka Method



低コスト



早期安定



主催



共催



TICAD9テーマ別イベント

福岡からアフリカへ！

世界のごみ問題を解決する環境にやさしい
ごみ埋立技術「福岡方式」



第9回アフリカ開発会議（TICAD9）にて開催する
セミナーをリアルタイムでお届けします。

このセミナーでは、準好気性埋立構造・福岡方式
が、廃棄物処理に課題を抱える都市の生活環境改
善やメタンガス排出削減にいかに関与するの
か、専門家とともに考えていきます。
皆さまのご参加をお待ちしています。

2025/8/21(木) 10:00~11:30

場 所：パシフィコ横浜 展示ホールD (横浜市西区みなとみらい1-1-1)
※オンライン同時配信 (Zoom)、日/英同時通訳

参加費：無料 (右記の二次元コードからお申し込みください)

お問い合わせはこちらまで：fmg2022@city.fukuoka.lg.jp

▼会場参加はこちら



オンライン参加はこちら▲

開会挨拶・福岡市の取組み紹介

野口 士朗 福岡市環境局環境政策課長

基調講演

松藤 康司 福岡大学名誉教授・NPO法人SWAN福岡理事長

<講演者プロフィール>

1948年福岡県生まれ。博士（工学）、技術士（衛生工学）、薬剤師。専門分野は、廃棄物埋立、埋立地の微生物、廃棄物処理処分、途上国の廃棄物問題、使用済紙おむつの再資源化システムの開発など。1988年～1990年にJICA長期専門家としてマレーシアに派遣され、以降、JICAや国連ハビタットの廃棄物専門家として多くの国で「福岡方式」の技術移転を行っている。



休憩

パネルディスカッション

テーマ:

「福岡方式実用化50年 これまでの歩みとこれからの展開」

パネリスト:

松藤 康司 福岡大学名誉教授・NPO法人SWAN福岡理事長

渡辺 泰介 株式会社エックス都市研究所

海外展開部門 兼 事業開発関連部門(海外事業) 主席研究員

タケレ デシサ ブッシャ

アディスアベバ清掃管理庁(AACMA)

リサーチ・プロジェクト・処分場管理部門 副局長

木元 輝彦 福岡市環境局施設課長

モデレーター:

星野 幸代 国連ハビタットアジア太平洋地域本部 本部長補佐官

閉会